



【農業・商工業】



チームワーク、それがみんなの合言葉



環境のことを考えながら、工業立地をめざす

今度はこれに挑戦してみよう―― やり甲斐のあるステージで、夢が花ひらく

村の基幹産業は農業で、「コシヒカリ、ひとめぼれ、初星」といった有機米の生産が行われています。村では、将来を担う農業者の育成に努め、やりがいのある21世紀の新しい農業をめざし、農業技術・経営に関するさまざまな研修を行っています。稲作とともに野菜・畜産・果樹・花きなどの生産が伸長する中でも、全国トップレベルの出荷量を誇る「岩瀬さゆり」は首都圏を中心にますます需要を広げ、ハウス栽培により冬場に出荷が可能になった秋冬ニラも「甘ニラ」として消費者に浸透しています。村の農産物処理加工所では、こうした農産物をベースに、ふるさと天菜ならではの味づくりに

こだわり、さまざまな商品開発も行われています。また、村内でとれた新鮮な野菜や山菜などを販売する農林水産物直売所「季の里てんえい」も平成12年5月にオープンしました。近年、福島空港の開港にともない、ハウスによるバラなどの栽培もはじまり、花き栽培農家も増えてきています。工業では、飯豊農工団地と大山農工団地を中心に多様な業種の企業が進出しています。今後は、空港・高速道路などの交通網の整備による物流の円滑化を図り、福島県ハイテクプラザなどを利用した行政と企業の工業ネットワークづくりが注目されています。

